

昨年の一二月、『ミシュランガイド東京版』が出版されて話題を呼んだ。その中に、三つ星が八店もあり、しかも五つ星が和食の店であったという。喜ばしいことである。しかしいずれにしても、自分には無縁の話であった。そのときふと思った、私にとつての三つ星店はどこだろう。そうだ、学生街の「昇龍軒」だ。もう一八年になるだろうか。非常勤講師として毎週火曜日に母校に出かけている。その折に昼食をとるのが昇龍軒である。文学部（最近は妙な名称になってしまった）の授業を終えて、政経学部に移動し講義を始めるまでの五〇分間に食事をするのだが、そのときこの店でいつもタンメンを食べるのである。学生時代はニラレバ炒めであった。学生街の店であるから、すこぶるきれいとは言えない。しかし、おいしいのだ。

学生時代には、老夫妻が店を切り盛りしていた。今は代がかわり、息子さん夫婦であろう、黙々と料理をし、湯気のあるタンメンを出してくれる。他の店で食事をするのではない。

ところで、今年五月の新聞に、ミシュラン三つ星店の鮎職人、小野二郎さんの記事が載っていた。築地市場で鮎種を吟味し、最高の香りと味わいを求めて調理に工夫を積み重ね、鮎のうまさを決める人肌の酢飯を追求する。健康管理も怠らない。鮎を握ることに生涯をかけ、熟達を目指す職人の心意気を感じられ、感銘を受けた。

けれどその感銘にもかかわらず、「お任せ」で二〇個の握りを味わって三万円と聞くと、ミシュランが私には縁遠い世界であることに変わりはないと思う。昇龍軒で一人、そしてわが国立音楽大学の学生食堂で図書館員の方々とともに、おいしくそして愉快地昼食をいただくことに、なんの不足もないのである。

Parlandoのあゆみ

ばるらんど

その10

図書館員のノートから ①

参考図書を紹介するシリーズです。118号（1984年9月発行）から261号までに55回掲載され、現在も継続中。43回まではタイトルの「ノート」は「のおと」となっていました。

1 *A bibliography of computer music ; Musicians' autobiographies (I18)*

コンピュータ音楽に関する書誌；1800-1980年に英語で書かれた音楽家の自叙伝の書誌

2 *Who's who in opera ; Keeping score (I20)*

オペラの人名辞典；20世紀の映画音楽の書誌

3 *Early music discography ; A dictionary of Bharata Natya (I22)*

ブレインソングから後期バロックのレコード索引；南インド最古のダンス様式の辞典

4 *Les Gravures musicales dans l'illustration ; 『洋楽索引』 (I28)*

19世紀後半のパリの音楽生活を知る図版集；作曲者と原題と訳題の索引

5 『音楽大事典』；*Bonner Katalog (I29)*

1981-1983に発行された音楽事典；西ドイツの貸譜の目録

6 『クラシック音楽作品名辞典』 (I30)

名曲から小品まで

7 *Johannes Brahms (I31)*

ブラームスの作品目録

8 参考図書って何？ (I33)

参考図書は「参考にする本・調べるための本」

9 *The New Grove dictionary of music and musicians. 6th ed. (I34)*

網羅的な音楽百科事典

10 *Woodwind music guide (2点) ; Brass music guide ; Band music guide (I37)*

楽器や編成ごとの出版目録4冊

11 *The New Grove dictionary of musical instruments (I38)*

ニュー・グローヴの楽器事典

12 ヴィヴァルディ器楽作品主題目録 (I43)

Repertoire des Oeuvres d'Antonio Vivaldi

13 世界が狭い、地球が小さい 求める資料はイギリスへ (I44)

The catalogue of printed music in the British Library to 1980

14 『オペラ名曲百科』 (上下) (I45)

1986-1987年発行、その後増補版もあり

15 *The musician's guide (I46)*

アメリカ、カナダでの生活を助けるガイド

※ アンコール：『音楽大事典』『洋楽索引』『クラシック音楽作品名辞典』 基礎的図書の紹介として、132号、142号、147号に繰り返して掲載。

* かつこ内は掲載された号数です。

* 現在の所蔵状況とは合致しない内容が一部含まれています。

* 記事掲載時と現在の請求記号が違っている資料についての紹介が一部含まれています。記事を参照して資料請求する際は、再度OPACで確認してください。

* 記事の内容を読みたい場合は、『ばるらんど』の請求記号P1154と希望の号数を書いて、図書館カウンターで請求してください。